

事業報告書

第七期

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日



立体駐車場(平成 29 年 3 月 24 日竣工)

岩国空港ビル株式会社

目 次

- ・ 事業報告
- ・ 計算書類
 - 貸借対照表
 - 損益計算書
 - 株主資本等変動計算書
 - 個別注記表
- ・ 計算書類に係る附属明細書
- ・ 監査報告書

事業報告

1. 株式会社の現状に関する事項

(1) 事業の経過

平成24年12月に開港した岩国錦帯橋空港は東京路線のみの運航を続けてまいりましたが、平成28年度の夏ダイヤにおいては沖縄路線1日1往復が追加となりました。また、東京路線も1日4往復が5往復へと増便されました。昨年度、一昨年度と36万人台で推移していた旅客数は一気に45万 1,207 人となり、過去最高を記録しました。平成28年度の搭乗率については東京路線 67.5%、沖縄路線 51.0%でした。

施設面においては、堅調な搭乗旅客数に対応するために、山口県の補助により、岩国錦帯橋空港機能強化基本計画に基づき、3月に自走式2層3段式の立体駐車場が無事に竣工しました。結果として、空港駐車場の収容力は約38%増加し、851台となりました。

駐車場の運営に関しては、立体駐車場建設期間中に発生する収容可能数減少に対応するため臨時駐車場(枠269台)を整備しました。しかしながら、年末年始においては、前年より増便、また一部の航空機材の大型化による提供座席数増加により、深刻な駐車枠数不足が予測されたことから、山口県及び岩国市の協力のもと、整備した臨時駐車場に加えて、シンフォニア岩国や空港近隣の駐車場等敷地を搭乗旅客の泊車用として事前に確保しました。結果、最大時で、シンフォニア岩国に 141台、空港近隣敷地に216台が泊車できたことから、駐車場を要因とする便の遅延や乗り遅れを発生させずに乗り切ることが出来ました。

(2) 事業の成果

今期は就航便数の増加が好材料となり、旅客ターミナルビルの物販・レンタカー売上・新規コンサルト広告のクライアント獲得による広告料の増加及び航空燃料搭載量の伸びが寄与した結果、当期の売上高は過去最高の 271,085 千円(対前年+21,595 千円、108.7%)となりました。

販売費及び一般管理費は 241,856 千円(対前年+24,795 千円、111.4%)となりました。増加する空港駐車場利用車両の誘導員外注費や同設備補修費、そして今年度初めて従業員の退職金引当金を計上したことによりこれまでの在任期間分の退職金債務が費用として発生したことが主な要因です。新規の立体駐車場の稼働、退職金制度を確立したことにより、29年度以降はこれらの費用は抑制されることとなります。

その結果、営業利益は 29,229 千円(対前年△3,200 千円、90.1%)となりま

した。開業準備費の償却等△11,927 千円を営業外損益で処理し、経常利益は 18,925 千円(対前年△3,623 千円、83.9%)となりました。

なお、駐車場における搭乗者無料施策に対する補助として 30,000 千円及び立体駐車場等の整備に対する補助として 557,993 千円の県補助金が交付されており、その交付額については特別利益で処理を行っていますので、税引前当期純損益は改善し 60,443 千円(対前年+4,151 千円)を計上することとなり、昨年度を上回る黒字決算を達成することが出来ました。

法人税等については 21,505 千円(+420 千円、102.0)と若干増加しましたが、税引後の純利益は 38,937 千円(+3,730 千円、110.6%)と昨年度を上回る結果となりました。

(3) 当社が対処すべき課題

沖縄路線は平成29年度においては通年運航となりました。沖縄路線の利用促進のために山口県や岩国市の支援も強化されることとなっており、より戦略的な営業活動によりお客様からの認知度と搭乗率の向上が見込まれます。

そして、堅調に乗降客が増加するなか、山口県の補助により岩国錦帯橋空港におけるターミナルビル機能強化事業を着実に遂行することが肝要となっています。また、工事期間中における安全及び旅客サービス、営業収入の確保に向けた努力を精力的に行っていくとともに、費用においては適切な施設管理に努める中で支出抑制に取り組み安定的な経営基盤の構築に努めてまいります。

2. 設備投資等の状況

空港機能強化事業として、平成28年度は以下の設備投資を行いました。本設備投資資金は山口県交付金にて対応しています。

内容	投資額	摘要
構築物	529,744千円	立体駐車場建設等
工具器具備品	16,730 千円	立体駐車場監視カメラ、管制システム等

3. 財産および損益の状況の推移

区分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	第 5 期	第 6 期	第 7 期
売上高	237,786 千円	249,490 千円	271,085 千円
経常利益	13,240 千円	22,549 千円	18,925 千円
当期純利益	37,392 千円	35,207 千円	38,937 千円
1 株当たり当期純利益	3,665 円 93 銭	3,451 円 71 銭	3,817 円 41 銭
総資産	1,842,553 千円	1,802,757 千円	1,696,968 千円

純資産	516,293 千円	551,500 千円	590,438 千円
1 株当たり純資産	46,951 円 03 銭	54,068 円 68 銭	57,886 円 10 銭

4. 重要な親会社及び子会社の状況

該当事項はありません。

5. 主要な事業内容

主な事業

- ① 航空旅客及び航空貨物ターミナルビルの貸室業
- ② 航空機燃料保管施設提供業
- ③ 有料駐車場業
- ④ 広告宣伝業
- ⑤ 見学施設提供業
- ⑥ その他定款に定めた事業

6. 主要な営業所及び従業員の状況

① 主要な営業所

本社 山口県岩国市旭町3丁目15番1号

区分	営業面積:国有地借用面積	備考
航空旅客及び貨物ターミナルビル	8,496.49 m ²	
航空機燃料貯蔵施設	2,702.47 m ²	100Kℓ・50Kℓタンク各1基
駐車場	16,724.91 m ²	851 台収容
計	27,923.87 m ²	

② 空港利用状況

乗り入れ航空会社 全日本空輸株式会社

③ 路線及び便数

岩国～東京線 5 往復 10 便

岩国～沖縄線 1 往復 2 便

④ 入居者

(航空旅客及び航空貨物ターミナルビル)

航空会社 1社

売店 1社

レンタカー会社 4社

警備(航空保安検査)会社 1社

空港警備派出所 1機関

(航空機燃料保管施設)

施設管理及び給油会社 1社

⑤ 従業員の状況

男子	女子	計	平均年齢	平均勤続年数
1名	1名	2名	41歳	6年3ヶ月

※上記の他、契約社員1名在籍 ※平均年齢、平均勤続年数、単位未満は切り捨て

7. 主要な借入先及び借入額

借入先	期末借入金残高
岩国市	1,074,200 千円

8. 会社の株式に関する事項

- (1) 資本の額 480,000 千円
- (2) 発行可能株式総数 24,000 株
- (3) 発行済株式の総数 10,200 株
- (4) 事業年度末の株主数 23 名
- (5) 主な株主

主な株主	株数	持株比率
山口県	4,000 株	39.22%
岩国市	1,200 株	11.76%
ANA ホールディングス 株式会社	600 株	5.88%
株式会社 カシワバラ・コーポレーション	600 株	5.88%
和木町	400 株	3.92%
中国電力 株式会社	400 株	3.92%
サンデン交通 株式会社	400 株	3.92%

9. 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役の氏名等

地位	氏名	他の法人等の状況
取締役会長	柏原 伸二	(株)カシワバラ・コーポレーション 会長
代表取締役社長	末永 睦	
常務取締役	佐伯 英彦	
取締役	福田 良彦	岩国市長
取締役	米本 正明	和木町長
取締役	河内 秀夫	サンデン交通(株) 代表取締役社長
監査役	山根 博明	山口銀行 取締役 岩国支店長
監査役	金丸 眞明	西京銀行 代表取締役専務

1 代表取締役社長 末永 睦は平成 29 年 4 月 1 日に就任しております。

2 常務取締役 佐伯 英彦は平成 28 年 6 月 22 日に就任しております。